

行事／取組名称	ジュニアチャレンジ in 岡山		
担当者	長谷川修司（リモート）、味野道信， 原田勲		
開催日時・期間	2022 年 7 月 30 日（土） 13:30～15:30	会場	人と科学の未来館・サイピア
主催	物理オリンピック日本委員会	協力	人と科学の未来館・サイピア
共催			
協賛			
概要			
コロナ禍での開催のため、1．人数の制限（参加者を 50 人以内とし、お互いの間隔を取る）、2．実験器具などは全て主催者側で配布する、3．換気や手・机の消毒を行う、などの処置を行い実施した。 この会は岡山で行われている様々な“物理オリンピック”情宣活動に連動して、今回は小学生や保護者に物理オリンピックの実態を知って頂き、更にそれらの子供たちに“科学する心”を植え付けることを目的として「ジュニアチャレンジ in 岡山」を人と科学の未来館・サイピアの協力で開催した。			
参加者 教員	生徒	保護者	
4 名	2 3 名	2 1 名	

今回もコロナ禍という特殊な状況下での対面開催となり、サイピア側との打ち合わせの上、感染対策を施したうえで“岡山・人と科学の未来館・サイピア”の協力で実現した。

岡山では、これまで2年に一度チャレンジが開催され、県教育委員会も毎年冬に高校生を対象に“科学オリンピックへの道”と称する大会を開催するなど“物理オリンピック”への関心度が高い。この流れを支援するためにも、また物理オリンピック日本委員会が近年特に力を注いでいる若年層への働きかけを実施するためにも、上記企画が実行された。

講座では、まず長谷川理事長が挨拶を行い、自然観察や、疑問に思ったことについての探求心が大切であるとのコメントの後、自分は小学生の時の自由研究が褒められたことが理科に進むきっかけで、保護者に真剣に子供を褒めることの大切さが説かれた。

続いて原田が物理チャレンジと国際物理オリンピックの紹介と、浮力に関するクイズを出題し、保護者を交えて科学的な解答の筋道を楽しんだ。特に、指をビーカーの水につけた時、ビーカーの底に浮力分だけ重力がかかっていることに驚きながらそれを秤で確かめた。

その後、味野が磁気の問題を取り上げ、電流と磁場と力の関係などについて学修した後、電池、導線、アルミ箔などを用いて“単極モーター”を制作させた。参加者はモーターを作ることにより、学修した電流と磁場と力の関係についてより身近に考えることができたようであった。

参加小学生たちは保護者とともに、熱心に話を聞いたり、実験器具作成のために手を動かしたりと物事に熱中したことは素晴らしかった。また、保護者もともに講座に参加できたことが素晴らしい。将来、この参加者から物理チャレンジやオリンピックに参加し、さらに科学研究者として世界に飛躍する人たちが出てくることを大いに期待している。



